

【1 分解説】GX-ETS とは？

総合調査部 副主任研究員 牧之内 芽衣

GX-ETS (Green Transformation Emission Trading Scheme) は、日本政府がカーボンニュートラル実現に向けて 2023 年度から導入した排出量取引制度です。第 1 フェーズ (2023~2025 年度) は、主に年間 10 万トン以上の CO2 排出事業者が自主的に排出削減目標を設定し、その進捗や実績を「GX ダッシュボード」で公表する仕組みとなっています。目標超過分は他社に売却でき、未達の場合はクレジット購入や理由公表が求められるなど、企業の自主的な取り組みと透明性の確保が重視されています。

2025 年時点で、GX-ETS は段階的な発展が予定されています。2026 年度から始まる第 2 フェーズでは、制度の法定化や参加義務化、政府による排出枠の割当、排出量実績の報告義務などが導入される見通しです。これにより、企業は割り当てられた排出枠の範囲内で排出量を管理し、余剰分の取引やクレジットの活用が可能になります。また、排出枠の市場取引や価格安定化措置の導入も計画されており、制度の実効性が一層高まることが期待されています。

GX-ETS は、国際的な排出量取引制度の教訓も踏まえつつ、日本独自の段階的なアプローチで、企業の脱炭素化と経済成長の両立を目指す制度です。今後も法改正や制度設計の進展に注目が必要です。

関連レポート

- ・「【1 分解説】EU-ETS とは？」(2024 年 10 月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/381686.html>
- ・「【1 分解説】GX(グリーンTRANSフォーメーション)とは？」(2023 年 6 月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/253659.html>